

第27回 三番瀬再生会議の開催結果概要

1 日 時 平成21年6月11日(木)午後5時30分～午後8時47分

2 場 所 浦安市民プラザWave101

3 出席者数 委員20名 オブザーバー6名

4 参加人数 94名

5 結果概要

(1) 開 会

(2) 議 事

ア 議題1 第25回から第26回までの再生会議の結果について

資料1に基づき、大西会長から概要が報告された。

イ 議題2 平成20年度三番瀬再生事業の実施結果概要及び21年度の実施方法について

資料2～5により、事務局から説明があり、その後、細川座長から三番瀬評価委員会の検討結果について次のとおり報告があった。

- ・再生事業の継続を見直さなければいけないような知見はみつからなかった。
- ・再生実現化推進事業についてはモニタリング方法について注意点を指摘した。
- ・自然環境調査については、年度ごとの調査結果を冊子やパンフレットにまとめてほしいと要望した。
- ・護岸の改修工事については、気がついた点を指摘した。
- ・5カ年の自然環境調査の総合解析(22年度実施)にあたり、総まとめをすることになるので、今から三番瀬全体の水質や地形の変化を扱えるモデルなどについて勉強会をしていこうという議論が出てきている。

主な意見等は次のとおり。

- ・江戸川の水を常時三番瀬に流した方がいいというアイデアを検討するため、平成20年度自然環境調査についてももう少し詳しく精査してほしい。

- ・行徳可動堰については再生会議の中でも意見交換したいと思うが、前回の再生会議の意見として4項目挙げた中に、「江戸川放水路について江戸川放水路や行徳可動堰の運用が三番瀬の再生に資するものになるように流域圏の県として意見を出すこと」を要望している。これについてどういう対応を取ったのか。
- ・【県の回答】利根川の河川整備計画作成の過程で、千葉県知事が意見を言う機会はこれから出てくると考えている。引き続き検討し、可動堰の改修については、早期の改修をしていただくように国のほうに働きかけていきたい。
- ・深浅測量が行われ全体的に若干の堆積傾向が見られるとのことだが、その要因が例えば放水路からの出水なのか、浦安側で入れたという砂なのか、その辺の分析を慎重にやってほしい。
- ・【県の回答】来年度予定されている総合解析に向けて、委員の皆さまの意見を伺いながら考えていきたい。
- ・浦安市が、環境学習施設の基本設計業務を受託する業者をプロポーザル方式で募集している。これについて県はその情報を把握しているのか。また、三番瀬とのつながりについては県が主体になって方向性を出さないと進めていけない。早急に対応が必要と思う。
- ・【県の回答】他の関係市との調整を含め、提案をしっかりと受け止めさせていただく。
- ・行徳湿地のワーキンググループで出された三番瀬と行徳湿地のつなぎ方の問題が出ていない。その問題を今年のテーマとして進めるようにしてほしい。
- ・【県の回答】内陸性湿地整備検討協議会において、まず実現可能なところからという意味で、千鳥水門の増設をして三番瀬海域との海水交換をよくすることや、淡水をより多く入れて湿地内の汽水化を進めることについて検討し、具体的な手法の検討を進めている。
- ・江戸川第二終末処理場から、雨の場合に生の汚水を今年から旧江戸川に流すという話を何回も聞かされているが、塩素によって、旧江戸川のほうで行っている漁業に影響が出るという指摘があるので、対策を考えてほしい。
- ・【県の回答】誤解があるのではないかと思うが、江戸川流域下水道の終末処理場については、今井橋のところで旧江戸川に放流しており、降雨のときに水量が多くなった場合には一部暫定緊急放流という形で猫実川のほうへ流すという状況であった。この件を解決し、三番瀬へ流入さないようにするために、新たな放流幹線を3月末に完成させ、この4月以降は旧江戸川に放流している。

流域下水道は基本的にすべて処理した水を適正な排出基準以下の水質で放流している。河川管理者、漁業関係者さんともいろいろ協議をした上でこのような形での放流を行っており、基本的に問題はないというふうに理解している。

- ・塩素について、具体的にデータはあるか。
- ・【県の回答】今はないので、お答えができない状況。
- ・市川市所有地における自然再生（湿地再生）に係るワークショップで出た意見について、市川市の案も含め十分検討してほしい。
- ・【県の回答】意見がまだ分かれている段階なので、これから実現化検討委員会の中でさらに検討を進めていきたい。
- ・ラムサール条約関係の今後の課題の欄に、「三番瀬全体の取り組み（特に漁場再生の取り組み）が進展しない」と書かれているが、今までは転業資金等に関する補償問題が大きな問題になって進まないと聞いていた。
- ・【県の回答】利害関係人とお会いして制度の仕組みや内容について説明をしていく中で、三番瀬が豊かな海になってからにしていきたいという意見もいただいているため、そのように書かせていただいた。
- ・江戸川可動堰改修の計画をこれから練るというので、三番瀬によくなるような可動堰になるように、皆で力を合わせていきたい。

会長まとめ（議題2）

- ・今日での意見を尊重し、昨年度の整理・総括を行うこと。
- ・評価委員会への指示事項は、以下のとおり、
 - 平成20年度三番瀬自然環境調査事業の結果に基づく三番瀬の評価
 - 22年度に、5年の節目ごとの総合解析を行うことになっているので、これに向けて必要な作業の検討
 - 市川市塩浜護岸の改修事業について、モニタリング結果が示されているので、その評価

ウ 副知事あいさつ

議題2の県説明終了後、植田副知事から以下の通りあいさつがあった。

- ・再生会議委員の改選後第1回の会議となっている。引き続き熱心なご審議、ご意見をお願いしたい。

- ・今後とも地域や漁業者、NPOの方々を初め広く県民の方々にご理解いただくとともに、国、地元市などの関係機関にもお力添えをいただきまして、一步一步着実に進めて参りたい。

委員からの発言は以下のとおり。

- ・森田知事の三番瀬に対する気持ちや三番瀬の今後の方向性がどのようになっていくのかを聞きたい。
- ・【県の回答】森田知事の基本的なスタンスは人と自然が共生する社会が必要ということ。貴重な自然の一つとして次世代に引き継いでいくことが重要であり、三番瀬は東京湾全体の宝という認識を持っている。具体的にご質問のあったラムサール・江戸川可動堰については、地元・関係者の意見を十分聞いて、対応を考えていきたい。関係者の方が多々いらっしゃり、意見も多岐にわたっている。今日のご意見は逐一知事にお伝えする。

エ 議題3 その他

主な意見等は以下のとおり。

- ・新しい知事として三番瀬のランドデザインや、どうイニシアティブを取っていくのかを語ってほしい。
- ・【県の回答】知事の方にご意見の趣旨を十分に伝える。
- ・ラムサール条約などについて、ワーキンググループを作ってほしい。
- ・「再生会議のあり方が問題だ」というような発言が市川市長からあったと新聞記事で見たが、それに対する知事の見解はどうか。
- ・【県の回答】様々な意見があるという認識を知事が持ったということは間接的に聞いている。再生会議の評価については聞いていない。
- ・キャラクター・シンボルマーク・標語をいち早く活用してほしい。
- ・【県の回答】大変好評をいただいているので、イベントの販促物等で活用していきたい。
- ・三番瀬再生は、思い入れのある事業。その思いを知事に伝える機会をもってもらえるとありがたい。
- ・関係市ももっと建設的に再生会議を活用してほしい。
- ・漁業者の委員参加についてももう一度働きかけてほしい。

- ・ グランドデザインづくりを県のほうも進めてほしい。再生会議の中でもそういうことは議論しないとイケない。
- ・ 行徳可動堰について、どのようにすれば三番瀬の再生にとっていいものになるか、合意できるのであれば再生会議として県を通して国へお願いしていくことも必要。
- ・ 浦安の環境学習施設については、環境学習検討委員会で早急に議論するということをコンセンサスとしていただければと思う。
- ・ 可動堰については、治水、そして利水ということで今もやっているが、この見地だけで見直していくというのは、エコだとか生物環境とか生物多様性とかいう時代に、随分遅れていると感じる。
- ・ 国交省が公表した「東京湾の大規模高潮浸水想定災害シミュレーション」を見ると大きな被害が発生するようで、今造っている護岸は無駄のように感じる。
- ・【県の回答】今回のシミュレーションは複数パターンやっており、水門や堤防などの構造物が壊れて、温暖化による水面上昇があり、という最悪の事態を想定したもの。県としてもこれから調査なりして対応を進めていきたい。

会長まとめ（議題3）

- ・ ラムサール・江戸川放水路・漁場再生、その他委員から意見を伺い希望がある課題については、ワーキンググループを作って検討を深めていく。
- ・ グランドデザインについても取り上げていきたい。
- ・ 我々は知事から委嘱されている。新しい知事がどのように三番瀬について考えているのか知りたい。次回の会議（9月2日(水)予定）にはぜひ出ていただいて、知事に考えを示してほしいというのが再生会議委員の強い意向である。

オ 議題4 報告事項

資料6～10に基づき、三番瀬再生支援事業の実施結果については事業実施団体から、市川市塩浜1丁目護岸に関する県市の協議状況について、行徳内陸性湿地再整備検討協議会の開催結果について、三番瀬漁場再生検討委員会の検討状況について及び市川航路・泊地の維持浚渫工事については事務局から説明があった。

主な意見等は次のとおり。

- ・ 市川航路・泊地の維持浚渫工事について、浚渫した土の投入する場所はどこか。
- ・【県の回答】浦安沖の深掘部に投入している。

- ・市川市の広報紙では、塩浜1丁目の護岸を海と親しめるように干潟化して整備することを県に要望したところ、県が主体となって整備すると回答があったと書かれているが、これは再生会議での議論を少しはみ出した話ではないか。
- ・【県の回答】干潟化については、これから市川市と十分協議していくということになっている。
- ・市川市は従来人工海浜を設けるという絵を描いていたと思うが、県知事への要望の中では、干潟を設けるという項目があるようだが。
- ・【市川市の回答】元々は昔あった干潟を取り戻してほしいとずっと一貫して言っている。海浜をつくってくださいということは、言っていないと思う。

会長まとめ（総括）

- ・議題3でまとめたことに尽きる。
- ・知事は施政方針を示してほしい。できれば再生会議に来ていただいて、表明していただくのが最善。
- ・並行した作業として、ワーキンググループでの掘り下げを行う。どのようなテーマで行うか、ご意見を伺いたい。

（４）その他

吉田委員から三番瀬評価委員及び三番瀬再生実現化試験計画等検討委員について辞任の申し出があったことが事務局より報告され、了承された。

また、事務局より、本年度の三番瀬再生支援事業補助金の状況について説明があった。

その後、市川市より、市川市長が千葉県知事へ提出した「三番瀬の再生と行徳臨海部の環境改善に関する要望書」が配布され、報告があった。

最後に、事務局より「エコメッセ 2009 in ちば」（9月6日(日)幕張メッセ）において三番瀬のPRを行う予定であること及び次回再生会議の開催（9月2日(水)17時30分～ 船橋フェイスビル6階きららホール）について報告された。

（５）閉会

以上